



藤沢記者クラブ各位

水痘の流行注意報を発令します

本市の感染症発生動向調査による2024年第38週(9月16日～9月22日)における水痘の患者発生状況が、定点^{※1}あたり1.30人(定点数10か所、報告数13人)となり、注意報発令基準値^{※2}を超えたため、流行注意報を発令します。

本市の水痘の流行注意報は、2019年第19週(5月6日～5月12日)における発令以来、およそ5年ぶりとなります。

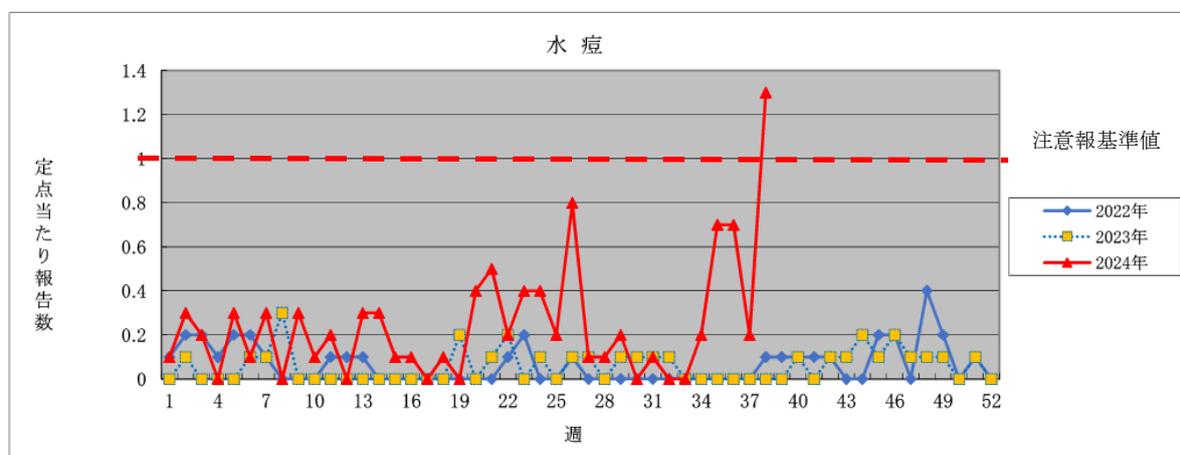
※1「定点」:対象となる感染症について発生動向調査のため予め指定し、定期的に患者発生状況を報告していただいている市内医療機関(水痘の場合は、小児科定点10か所)「定点あたり」の数値は、1週間分の患者数の平均値。

※2 定点あたり「1.00人」を超えると注意報を発令、「2.00人」を超えると警報を発令します。なお、警報解除基準は定点あたり「1.00人」です。

▼水痘の定点あたり基準値の推移

週	集計期間	全国	神奈川県	藤沢市
35週	8月26日～9月1日	0.12	0.16	0.70
36週	9月2日～9月8日	0.14	0.19	0.70
37週	9月9日～9月15日	0.13	0.12	0.20
38週	9月16日～9月22日	-	-	1.30 (注意報発令)

▼藤沢市内の水痘発生状況グラフ



<水痘とは？>

1 主な症状

水痘は、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染症です。感染から2週間程度（10日～21日）で、頭から、体幹部・手足にかゆみのある発疹が広がり、発熱（38度前後）や倦怠感を伴うことがあります。

発疹は、紅斑（こうはん：皮膚が赤くなる症状）、丘疹（きゅうしん：皮膚から盛り上がった発疹）、水疱（すいほう：水ぶくれ）、痂皮（かひ：かさぶた）の順に変化し、順次現れるため、これらが同じ時期に混在するのが特徴です。

まれに肺炎や脳症等の重篤な合併症を起こすことがあります。り患は、小児が多いですが、成人が感染すると、より重症になり合併症の頻度も高くなります。また、初感染後は、終生免疫を得ると言われています。

2 感染経路

空気感染、飛沫感染、接触感染

3 予防方法

2014年10月から水痘ワクチンは定期の予防接種となっており、2回の接種（1～3歳未満）により発症を防ぐことができると考えられています。ワクチン以外の予防法はなく、患者との接触後、72時間以内にワクチン接種することにより、発症の防止、症状の軽症化が期待できます。なお、学校保健安全法施行規則により、全ての発疹が痂皮化する（かさぶたになる）まで出席停止と定められています。

以上

*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 健康医療部 保健予防課

担当： 幸田・加藤

内線： 7171

直通： 0466（50）3593